



久留米大学商経同窓会報

KURUME UNIVERSITY SYOUKEI ALUMNI BULLETIN No.27



昼下りのメロディ

西部水彩画会会員 山村 修二 (昭34卒)

久留米 (筑後地区) は自然の環境にも恵まれ、戦前より絵画のレベルが全国でもとても高い地区と云われている。

青木繁、坂本繁二郎、古賀春江をはじめ傑出した画家を数多く出している。

又、石橋美術館の設立は美術啓蒙の大きな役割を果たしている。

私も久留米で生まれ、高名な画家達の絵を観てきた。

福岡に住んでいるが郷土の事をいつも誇りに想い趣味で絵を描き続けてゆきたい。



挨拶

久留米大学商経同窓会

会長 宮原 岩政 (昭和39年卒)



あけましておめでとうございます。

2011年の年頭にあたり今年も同窓会員皆様に、より佳き歳でありますことを祈念致します。昨年は商学部開設60周年の記念すべき年であり、私達同窓会も記念式典に多くが参加し、第1期の先輩方を始め、それぞれの年代に学んだ会員は、大学がさらなる発展充溢がなされることに同窓会としていささかなりとも下ごさえできればと互いに認識を新たにしました。

昨年の夏は地球温暖化の影響もあってか、猛暑が続き、自然も人も万物、弱りきったものでしたが、3月に鳥栖三養基支部（佐賀県）が発足し、9月には佐世保支部が再開されました。

毎年5月に開催される福岡県南支部会総会を皮切りに9月から11月には毎週のように支部総会が開催され、会員の地域に於ける活躍は会員相互のきずなが強くなり、本部から出席する私達との会話もはずみ、会員の親睦は地道ではありますが、年毎に深まっていることを実感しています。

これらの支部総会に由井商学部長先生、江藤経済学部長先生にはご多忙の中にも、ご出席戴き、会員の喜びも一入であり、両先生に同窓会より感謝申し上げます。

10月の日田支部総会には薬師寺学長先生、医学部同窓会の先生方、法学部、文学部からも幹事さんに出席戴き、商経同窓会支部総会は久留米大学同窓会日田支部総会とも言えるものでした。これは田中支部長の日頃からの活躍が然らしめるものがあり、田中支部長は学校法人久留米大学の評議員として評議員会の今年度の議長に就任され、会の運営に尽力されています。

それぞれの支部総会、支部長、役員のご努力で年毎の盛り上がり感謝いたしております。残念なことには宮崎支部総会が、口蹄疫の為、中止になったことであり、宮崎県及び畜産農家の皆様に衷心より、お見舞申し上げます。

大学は少子化による入学対象人口の減少により、4割超が定員割れする状況であり、大学間での受験者獲得競争は激化の一途であります。久留米大学は地域社会に於ける評価が高く、昨夏開催され

た次年度入学志願者を対象とした、オープンキャンパスでは、前年を上廻る参加者があり、参加した高校生からは是非、入学したいとの希望が聞ける人気であります。

昨年の入学試験合格者の定着率も高く、学校は対応に苦慮される程であります。これは学長先生、学部先生方の高邁な教育方針による、未来を拓き、地域社会発展に貢献出来る有為な人材の育成に尽力戴いた成果であり、同窓諸兄の地域に於ける活躍の証でもあります。

今年3月には九州新幹線が全線開通し、30万中核市としての久留米市はさらなる発展の可能性が増大し、福岡県南の一大拠点形成が期待出来、久留米大学の存在は大きく産学官の連携により、このチャンスを生かし、低迷する景気浮揚が図られることを望むものであり、同窓会はさらに結束を強め大学発展に寄与できることを目的に向かつて、今年も活動を続けなければならないと思います。

終わりに、会員皆様のご健祥を願ひご挨拶とします。

商学部の新たな方向性



商学部長 由井 敏範

人の幸せにつづくビジネスを学ぶ久留米大学商学部は、創設60周年を機に、15年後の75周年を見据えて新たな方向を打ち出すことにいたしました。それは、端的に言えば質の向上です。入学生数を絞り学生の質を向上させたくて、入学してきた学生をきめ細かく丹念に指導・教育することで教育の

質を高め、人の幸せにつづくビジネスを学ぶ久留米大学商学部の質を高めるのが狙いです。

次年度以降の入学生の受入人数については正式に合意がなされております。また、教養科目については、市民性の育成に繋がる基礎教養科目と商学部の専門教育への橋渡しとなるビジネス教養科目に大別し、新しい社会をひらくビジネス・リーダーの育成という商学部の教育理念および現在の社会状況を勘案して開講科目を再検討したうえで、専門科目と同様に1科目4単位開講・4単位一括認定とすることとしました。さらに、外国語科目については、基礎外国語科目とビジネス外国語科目に大別し、前者を1年次、後者を2年次

に開講することで、2年次にも全員が外国語を学ぶ体制をとることにしました。

一方、専門教育についても、商学部の教育理念に基づき、商学系、経営学系、会計学系の3つの学系ごとに特色あるカリキュラム編成による教育のより一層の質向上を構想しています。この会報がお手元に届く頃には、新体制の内容が具体的に決定していることでしょう。

以上のように、人の幸せにつづくビジネスを学ぶ久留米大学商学部は次年度からリフレッシュ・スタートいたします。今後とも温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

六 菖 十 菊 の 弁



経済学部長 江藤 彰彦

この4年間、学部長として学部や大学全体が直面する課題の検討にかかわってきた。18歳人口減少への対応、教育内容の充実、大学全体の財政基盤の強化など、いずれも難題ばかりである。現在、理事会レベルでは基本構想策定会議を設置して対応策の検討が進んでおり、御井キャンパスでも将来構想検討委員会が発足し、教育制度の改革や、御井キャンパスの長期

整備計画とその基点となる新棟の計画作りが進んでいる。

それらの会議で議論を重ねながら、対話を通じて問題を見つけ出してゆくことの大切さを、今更ではあるが教えられた。

各学部は、教育・研究の充実を目標に、それぞれ努力を重ねている。事務組織も、日常業務に加え、新たに生じる問題にも次々と取り組んでいる。その限りでいえば、組織はそれなりに機能している。しかしながら、学部の枠を超える範囲を対象を広げ、時間枠をもう少し将来に延ばして議論を進めてゆくと、これまでさほど意識することがなかった問題にしばしば行き当たる。「目には入っていたのだけれど、見えていなかったのだ」と、はっと気付かされるのである。

こうした事態は、日常生活においてもよく生じる。毎日昇り降り

している自宅の階段の段数でさえ、正確に答えられる人はさほど多くはないのではないかと見ようとして見なければ、見えないのである。観察とは「何かを見るということよりも、何を見たらよいかを探ること」だとの指摘は、言い得て妙だと思う。

「あたり前」と化した状況を見つめ直すには、対話を通じた問題発見はきわめて有効な取り組みだ。とりわけ本学の場合、医学部を含めて、大学全体での実質的な対話を深めてゆくことがそのかなめとなる、これが任期も残りわずかになってたどり着いた思いである。

これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、支部会で温かく接してくださった皆さん、そして毎度遅れる原稿を待ってくださった本田さんに、心からお礼を申し上げます。次第である。

平成22年度代議員会・定期総会を開催

久留米大学商経同窓会平成22年度代議員会・定期総会は4月10日(土)午後12時30分より久留米大学御井学舎メディアセンターで開催されました。

総会は出席者85名で開催し、溝口議長により

第1号議案 久留米大学商経同窓会会則改正の件

(現行) 第7条 役員の任期は、3年とし、再任を妨げない。

但し、会長については3選しないものとする。

(改正) 第7条 役員の任期は、3年とし、再任を妨げない。

第2号議案 平成21年度事業報告の件

第3号議案 平成21年度収支決算報告並びに監査報告承認の件

第4号議案 平成22年度事業計画承認の件

第5号議案 平成22年度予算承認の件

上記議案は、いずれも承認可決されました。

平成22年度、代議員会・定期総会では、来賓として薬師寺学長、由井商学部長ならびに江藤経済学部長のご出席を賜り、ご挨拶をいただきましたので、ここに紹介いたします。

薬師寺学長からは、学長が入学された当時の古き良き時代の大学を回想いただきと共に、学校法人久留米大学がこれまで世に輩出した卒業生は72,000名を超え、さまざまな分野で活躍しているという現実を踏まえた

とき、私たちは更なるパワーと存在感を世に示していくことが大事であるということを強調された他、地元根付いた大学として、久留米市の活性化(街おこし)にも皆様方の支援と協力をお願いしたいとの話をいただきました。

続いて、昨年4月より商学部長に就任されました由井商学部長からは、昨年度の商学部入学者数は368名となったが、商学部の一般入試の歩留まりが、これまでに例のない高いパーセンテージであったことをご披露いただくと共に、商学部の志願者数が増加していることは、これまでの60年間、地道に行ってきた活動の成果であり、又、同窓生の方々の支援によるものだとのお言葉をいただきました。

最後に江藤経済学部長から、経済学部の活動は商学部の支援をいただきながら社会とのつながりを深めることができていることに感謝の弁をいただいた他、薬師寺学長が「更に良き大学」を目指して改革に取り組んでおられることに対し、商経同窓会の宮原会長も学長の改革推進に支持をされ、お陰をもって、改革が動き出していることにお礼の言葉をいただきました。

更に、江藤経済学部長は御井キャンパスの本丸にあたる新棟の建設に思いを馳せ、時代の流れと共に歴史と風格を漂わせる質の高い本丸の建設を提唱され、この思いに是非のお力添えを皆様よりいただきたいとのお話がありました。

宮原商経同窓会長として三氏へのご臨席、ご祝辞への御礼をはじめ、商学部60周年記念行事への祝意や同窓会として念願の支部増設の裾野拡大、それに伴う支部活動の充実や本部組織の改善を図る旨の挨拶がありました。

商経同窓会平成21年度決算・平成22年度予算

借 方				貸 方			
款	項	22年度予算	21年度決算	款	項	22年度予算	21年度決算
事業費		9,116,000	8,214,500	会費収入		14,400,000	15,223,000
	寄付	0	0		入会金	13,500,000	13,900,000
	学納金援助基金	0	0		会費	300,000	288,000
	旅費	1,900,000	1,698,230		終身会費	600,000	1,035,000
	奨学費	96,000	64,000	利息収入		70,000	135,872
	会議費	1,200,000	1,280,429		預金利息	70,000	135,872
	渉外費	200,000	48,370	雑費収入		40,000	53,578
	支部対策費	1,600,000	919,440		雑収入	40,000	53,578
	印刷費	500,000	408,304	事業積立金取崩		0	0
	賃借料	240,000	219,450		事業積立金戻入	0	0
	会報費	2,250,000	2,115,003	小計		14,510,000	15,412,450
	補助費	1,100,000	1,421,274	前年度繰越金		4,804,162	3,388,562
	会費	30,000		合計		19,314,162	18,801,012
事務費		3,130,000	3,282,350				
	職員人件費	2,200,000	1,664,391				
	社会保険料	270,000	194,215				
	通信運搬費	270,000	220,923				
	消耗品費	100,000	88,265				
	修繕費	50,000	0				
	雑費	200,000	1,078,711				
	備品費	0	0				
	支払手数料	40,000	35,845				
積立金繰入		3,500,000	2,500,000				
	基本金支出	200,000	200,000				
	事業積立金支出	3,300,000	2,300,000				
	学納金援助基金支出	0	0				
予備費		3,568,162	0				
小計		19,314,162	13,996,850				
次年度繰越金		0	4,804,162				
合計		19,314,162	18,801,012				

平成23年

お知らせ

代議員会・定期総会

○日時 平成23年4月23日(土) 午前10時30分

○会場 久留米大学御井学舎学生会館3階

久留米大学商経同窓会
総務委員会

〒839-0851 久留米市御井町1635
syukei@ktarn.or.jp

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

全国支部長会開催



12月4日ハイネスホテル久留米において、恒例の支部長会が開催されました。

宮原会長から遠路ご来訪の支部長各位を労う挨拶から始まり、大学を取巻く環境の悪化を同窓会として今まで以上に側面からバックアップして参りましょうとの決意に続き、各支部長から支部の現状並びに会員動員の悩みなど活発な報告がありました。中でもある支部長から学校法人における同窓会理事を増やし、医学部同窓会と一体となった活動を基本に学園発展に貢献すべきとのご意見が提案され有意義な支部長会となりました。

久留米大学経済社会研究所 開設記念シンポジウム開催さる

久留米大学では、全学的に社会科学全般に関する実証的、政策的な調査研究活動を実施できるよう、経済学部附属産業経済研究所を拡充改組し、大学附置の経済社会研究所を平成22年4月1日付けで設置しました。同研究所は、「経済、社会及び環境に関する理論と実態の調査、研究を行い、他の研究機関との交流を深め、もって学術文化の発展に寄与するとともに、地域社会の発展に資すること」を目的としています。

それにともない平成22年11月26日、経済社会研究所の開設を記念して「少子高齢化と持続可能な社会」をテーマにシンポジウムが御井キャンパスで開催されました。その内容は、わが国では、少子高齢化が急速に進んでいる中で、持続可能な社会を形成していくことが21世紀における最大の課題になっており、この形成に向けての具体的な取り組みが必要とされているという論旨でした。当日は著名な研究者と専門家が参加されました。本学関係では①薬師寺学長の挨拶②経済学科 原田康平教授による「経済と人口の弁証法的解釈」、文化経済学科 駄田井 正教授による「少子高齢化社会と経済との関係—文化経済学の視点から」の基調報告③久留米大学経済社会研究所長 藤田八暉教授をコーディネーターとして「少子高齢化と持続可能な地域づくり」のパネルディスカッションがありました。

会場には多数の市民、同窓生、学生が詰めかけ盛況でした。(大木)

移動幹事会

8月28日・29日の両日、宝泉寺観光ホテル(大分県)にて移動幹事会が催されました。

幹事会では会議旅費支給内規やあしたの会・九州主催のチャリティコンサート「悠久の調べ」などの話し合いがなされた。

其のほか支部活動の集大成である支部長会の開催日程や課題など検討された。



告示

久留米大学商経同窓会役員選挙を左記の通り行います。

一、役員名 定数

会長 一名

副会長 二名

幹事 二七名

会計 二名

監事 一名

副議長 一名

但し、幹事については、久留米大学商経同窓会幹事選出細則に基づき、幹事候補者を推薦または選出する。

立候補希望者は(役員推薦願)を三月二三日までに提出すること。

二、投票日及び場所

平成二十三年四月二三日(土)午後十二時(予定)

久留米大学御井学舎学生会館三階

三、開票日及び場所

投票終了後直ちに開票

四、立候補受付期間

平成二十三年三月二五日(金)午前十時より

平成二十三年四月十三日(水)午後五時まで

五、受付場所

久留米大学商経同窓会事務局

立候補届(事務室にあり)を郵送又は直接持

参の事

平成二十三年一月一日

久留米大学商経同窓会選挙管理委員会

委員長 堺 敬一

第一線インタビュー (38)

日本名水百選
霧島山系からの湧水一日6万トン

清流にほたる飛び交う出の山公園
株式会社いこいの家

代表取締役 坂本 宇一郎 氏(平成6年商学部卒)



坂本社長

毎秒1トンの良質な湧水はもともと島津藩が灌漑用水として作られた1200坪の広大な池に鯉4万匹をはじめ、マス、スッポン、うなぎ、そしてチョウザメ養殖と幅広い恩恵を与えてくれます。

(広報委員長 上床)

出の山溜池の起源

旧くは薩摩藩の灌漑用水として出の山溜池が構築され、その後島津藩の豊かな穀倉地帯の水源や住民の飲料水として利用されてきました。

また、あまりにも豊富な水量に鯉やフナを養殖することとなりました。

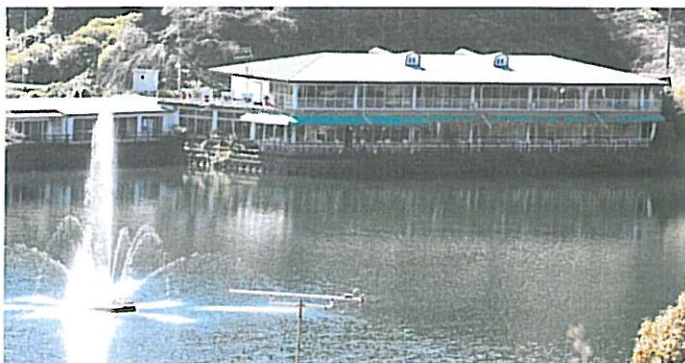
地域住民の唯一の楽しみは池を囲んでの鯉料理としてそれは賑わったそうです。

その後(昭和28年)、豊富な水量を利用しない手は無いと言うことで水産試験場の淡水魚研究所小林分場が設立され、養殖の研究のみならず動物性たんぱく質の供給源としても大いに寄与することになったそうです。



いこいの家誕生

祖父の故坂本宇三郎氏の時代に、県から漁業組合長を任じられ様々な地域活動を通して昭和33年、この地が「いこいの家」発祥となりました。その後、父坂本新平氏(現小林商工会議所会頭)に引き継がれ、周辺の県道整備やホテルの建設など環境が整い小林からえび



のスカイラインが開通して出の山いこいの家も賑わったそうです。

三代目として事業承継

平成6年大学卒業と同時に宮崎交通系列の宮崎交通観光に入社する。ここで営業職として観光事業に活躍することになりますが、5年目に父親の事業拡大などにより家業を手伝うため退社することになりました。

退社後は料理の修行に1年半ほど費やして、家業の料理中心に励みながら企業経営のノウハウ(帝王学)を学んできたつもりです。

父新平氏の他企業社長就任と前後して、平成16年にいこいの家の経営全般を任されることになり社長就任となりました。

初代坂本宇三郎氏から引き継がれてきた一期一会の精神を心に刻みながら、適進し、2年前の平成20年に多くの地元名士をお呼びして創業50周年の記念式典を終えたところです。

チョウザメ養殖に腐心

私の代になってチョウザメの生育に挑戦したわけですがやればやるほど苦労が絶えません。毎日が試行錯誤の連続です。

稚魚の生育も難しい中、2~3年目にオスの精巣、メスの卵巣を見極めるのに大変難しさがあります。生体の一匹一匹をストローで横腹から生殖腺を取り出し、顕微鏡で性ホルモンを調べなければなりません。その際ストローで腸を傷つけてもしたら死んでしまいますし、またチョウザメの成長も遅くキャビアそのものは10年から15年目の生体の熟成度によりようやく摂れる状況です。

従って費用対効果の面で苦心しています。



今後の展開

チョウザメの安定成長や難しいとされる孵化技術の研究、研鑽に努め量的に質的に価値を高めて参りたいと思います。

また、キャビアはもとより民間初としてチョウザメの油脂から石鹸を作ることも検討しています。

同時に消費動向を敏感に掴みながら鯉、鱒、キャビア、スッポン、うなぎなどの各種料理の充実に加えて、環境省による名水百選のお墨付きを最大限に生かした出の山公園をはじめ、すばらしい周辺観光地の知名度アップに全力を尽くしたい。

会社概要

商号	株式会社いこいの家
設立	昭和35年7月1日
資本金	10,000,000円
代表者	代表取締役 坂本宇一郎
所在地	〒886-0005 宮崎県小林市出の山公園内
営業時間	AM10:30~PM6:30 以降は予約制
電話番号	0984-22-5151
FAX	0984-22-5153
E-mail	ikoinoie@sweet.ocn.ne.jp
URL	http://www.ikoinoie.jp/



小林ICから車で3分。詳しくは上記ホームページをご覧ください。ご来園をお待ちしております。

第一線インタビュー (39)

地域金融の担い手として

筑後信用金庫白山町支店

係長 猪口 泰志 氏(平成10年経済学部卒)



猪口 泰志 氏

入社12年目の金融マンとして、厳しい経済状況、金融環境の中にあつて、考える営業、行動する営業を基本に、日々、金融を通して地域貢献が出来ればと鋭意努力しております。(広報副委員長大木)

大学時代

普通の学生でした。特にサークル活動には所属しませんでした。ゼミでは株式の上場銘柄3社を選んで、夏休み期間中の株価変動を紙上売買するという事もありました。ゲーム感覚で楽しかったことが思い出されます。通学は当初、自宅から公共交通機関でしたが2年生からはマイカーで通いました。

就 職

就職活動期は10年ほど前の就職氷河期に突入する前年ぐらいにあたりました。その頃の求人倍率は0.9ぐらいたったと思います。幸い夏ごろには当筑後信用金庫に就職が内定していました。



経営理念

当金庫は自己責任原則のもと健全経営を維持向上するため信用金庫3つのビジョンである「中小企業の健全な発展」、「豊かな国民生活の実現」、「地域社会繁栄への奉仕」をふまえて次の4つを経営理念としています。

1. 健全経営
2. 地域との共存共栄
3. 信頼される金庫
4. 働き甲斐のある職場

経営形態

信用金庫と銀行の業務内容についてはほとんど変わりませんが、経営形態が信用金庫は協同組織(会員制度)であり、銀行は株式会社という違いがあります。信用金庫は設立目的が地域の中小零細企業ならびに地域住民のための金融の円滑化を目的としており、営業区域も定款、商業登記に明示しています。

現状と取り組み

取り扱い金融商品では都市銀行、地方銀行などの他金融機関と競合しているので、当信用金庫の特徴を出すきめ細かい取り組みを目指しています。例えば①お客様から多くの相談事案をもらえる人間関係の構築であり、②取引を通して地域を盛り上げ、町を元気にする取り組みであり、③提案融資による資金需要の創出と円滑化などがあります。さらに、改正貸金業法の総量規制の影響を受けた個人のお客様に対するフリーローンの販売などはビジネスチャンスと捉えています。



将来への展望

3年おきの転勤で現在4店舗目の勤務です。以前はことさら出世しなくても良いと考えておりましたが、勤めた以上は筑後信用金庫の看板を背負って、責任ある立場の上役職を目指すことが育ててくださったお客様への恩返しだと今では考えております。今後とも頑張っていりますのでご支援よろしくお願ひ申し上げます。

筑後信用金庫プロフィール

名 称	筑後信用金庫
所 在 地	久留米市東町35-10
創 立	大正13年11月
店 舗 数	久留米市内ほか朝倉市、うきは市、筑後市、八女市に13店
出 資 金	211百万円
総 資 産	149,637百万円
会 員 数	11,200名
預 金 積 金	133,528百万円
貸 出 金	93,017百万円
役 職 員 数	195名



久留米大学商学部創設60周年記念にあたって

—久留米大学商学部の取り組みとブランディング活動—

久留米大学商学部長

由井 敏範

久留米大学商学部は、2010年4月に創設60周年を迎えました。この60年の間に、22,000人を超える有為の人材を輩出するとともに、広く社会の発展に大いに寄与する価値の高い研究成果を世に発信してきました。かかる実績を生み出すための先人の努力に対して、敬意を心より表すところであります。また、これまでに多大なるご支援を頂戴した同窓会員をはじめ、あらゆる関係者に対しても、謝意を心より表す所でありたいと思っております。

久留米大学商学部創設60周年を記念する行事として、去る4月10日に、薬師寺道明学長祝辞、前川博理事長祝辞、竹中登一日業連会長による記念講演、ホームカミングデー、記念祝賀会ならびに記念論文集の出版からなる春季行事を開催しました。また、11月25日および11月30日には、それぞれ張鳴上海財經大学会計学院教授および池明観韓国翰林大学日本研究所名誉所長による記念講演からなる秋季行事を開催しました。これらの詳細については、すでに大学広報等でご紹介したところですので、本日は、現在の商学部の取り組みとブランディング活動についてご紹介させていただきたいと思っております。

久留米大学商学部は、「新しい社会をひらくビジネス・リーダーの育成」というものを教育理念に据えております。ビジネス・リーダーを育成するためには、ビジネスに対する深い専門知識を習得させることはもとより、広い意味での人間力を育てることが必要不可欠であると考えております。

そのための具体的な教育方針として、久留米大学商学部は、3つの教育方針、すなわち、①ゼミ中心の少人数教育、②実践科学の尊重および③地域社会との連携というものを掲げ、これを実践しております。

①ゼミ中心の少人数教育ですが、久留米大学商学部は、1年生から4年生まで、全学生をかみならず、いずれかのゼミに所属させております。その一番大きなメリットは、教員が、常に、学生を視座の中核に据え、指導することができるという点にあります。その成果として、就職決定率全国9位の高実績を生み出すことができましたし、留年率・進級不能率を極めて低くおさめることにも成功しております。

②実践科学の尊重とは、科学的な知見に基づく実践可能なビジネス教育を行うことを意味しております。ビジネス世界は、時代によって、国、地域によって常に変化するものですから、常に最先端の研究を行い、科学的な知見へと高め、これをリアルタイムに教育に還元していくことを意味しております。また、学生に、実社会との交流を常に忘れずに勉学にあたってもらいたいという思いも込めております。

③地域社会との連携とは、具体的には、地域のビジネス界から、さまざまな方に講師として商学部の講義をご担当いただくとともに、卒業生の地域社会での活躍をとおして、広く社会に貢献していくことを意味しております。

ここで、近年のトピックスについて、簡単にご紹介させていただきたいと思っております。現在、各大学・学部には、特色を打ち出して、その存在意義を明確にしていくことが求められておりますが、久留米大学商学部は、①経済産業省特許庁の「大学における知的財産権研究プロジェクト」、②文部科学省「産学官連携戦略展開事業」、③文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」への選定という形でこれを現実のものにしています。

国際交流も積極展開しております。かねてより、中国の合肥工業大学との学術交流を進めてまいりました

が、近年では、これに加えて、上海財經大学との学術交流、韓国ハンリン大学との学術・学生間交流などを進めております。また、アメリカのロバートモリス大学や、フィンランドのヴァーサ大学との間でも、医療経営のあるべき姿について意見交換を行い、これを教育に還元してまいりました。

次に、「商学部ブランディング活動」について、ご紹介したいと思います。ブランディングとは、ブランドを作ることを意味しております。そして、ブランドとは、企業などのロゴ・マークにあらわされるイメージのことをいいます。

ロゴ・マークを作ることによって、広く社会の関係者に対して、久留米大学のイメージを思い浮かべていただき、久留米大学に対する認知を確かなものにしようということでございます。

ブランディング活動では、まずは、大学全体のブランドを確認することから始めました。キャッチ・コピーである「人へ、地域へ、そして世界へ。」は、本学の創設者である石橋正二郎氏の「人の為に尽くす」という建学の精神を引き継いだものであります。これが商学部にも正しく引き継がれているのかを検証するブランドファウンデーションをまずは実施しました。

わたくし達商学部で教育・研究に従事している各自がおこなったブランドファウンデーションの随所に「人」とか「人間」、あるいは「幸せ」というキーワードが出てまいりました。これに基づいて、「久留米大学商学部」の上に、「人の幸せにつづくビジネスを学ぶ」という文言を取り入れ、タグライン化した次第でございます。

久留米大学商学部の ブランドタグライン

人の幸せにつづくビジネスを学ぶ

久留米大学 商学部

タグラインとは別に、もうひとつ、ロゴ・マークも作成いたしました。ご覧のように、「“KURUME” 発 LOVE&DREAM」という文言を双方向の矢印に重ね合わせたデザインでございます。

久留米大学商学部のロゴ・マーク



ここでは、LOVEという言葉、すなわち、「愛」に人の幸せを具現しております。愛があれば、人は健全に、幸せな人生を送れるのだ、といった意味を込めております。また、DREAMという言葉には、学生が愛情に包まれた久留米大学商学部で成長し、そして夢を実現させてほしいという我々の思いを込めております。

久留米大学商学部は、今後も、さらなる70年、80年と、「人の幸せにつづくビジネス」を教育・研究し、「新しい社会をひらくビジネス・リーダーの育成」をとおして「人へ、地域へ、そして世界へ」貢献できる人材を社会に送り出し、ブランドに恥じない成果をあげていく所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りませう、切にお願い申し上げます。



支部だより



佐賀県支部総会

佐賀県支部会

佐賀県支部長 中橋 肇 (昭37年卒)

平成22年2月20日(土)、久留米大学同窓会・佐賀県支部総会を佐賀市の「グランデはがくれ」において45名の参加で開催した。来賓には葉師寺学長、由井商学部長、江藤経済学部長、石内前商学部長、商経同窓会宮原会長、同島田組織委員長並

びに医学部の佐賀県支部長枝國勇一郎様各位の出席と法学部、文学部からの参加があった。今回も葉師寺学長各位をお迎えしての支部総会となり、充実したものであった。

総会では、最初に商学部60周年のため、記念事業についての説明を

行った。講演は「交通事故防止等について」、佐賀警察署の交通課長さんを迎えて行った。懇親会では、葉師寺学長、由井商学部長、江藤経済学部長、石内前商学部長及び宮原同窓会会長等と同窓生が酒を酌み交わし、親しく語り合い、親睦を深めた有意義な懇親会であった。

最後に全員が輪を組み、校歌を斉唱し、1年後の再会を約束して終了した。



佐賀県支部会 平成22年2月20日 於 グランデはがくれ

お知らせ

久留米大学商経同窓会 佐賀県支部会

- 1. 期 日 平成23年2月12日(土)
- 2. 時 間 受付 午前10時00分
開始 午前10時30分
- 3. 内 容 総会・講話・懇親会
- 4. 場 所 佐賀「グランデはがくれ」
(JR佐賀駅南口より徒歩5分)
- 5. 会 費 6,000円
- 6. 支部長 中橋 肇
- 7. 連絡先 中橋 肇 (昭37年9回卒)
電話 0952-22-5425
携帯 090-2853-6122

活動報告に盛り上がり！

福岡支部会

福岡支部 朝久 岩生 (昭48年卒)



福岡支部会 平成22年11月6日 於 ANAクラウンプラザホテル福岡

福岡支部総会は平成22年11月6日、ANAクラウンプラザホテル福岡に於いて開催されました。

総会では会計報告が承認され、新役員の紹介、ゴルフ会の活動状況等が報告されました。懇親会ではご来賓の宮原商経同窓会会長、由井商学部長からご祝辞を頂き、折戸法学部同窓会会長のご発声で乾杯のあと宴会に入り、23回生の山本氏の司会により進められました。92年卒のOB往田氏により、九州大会で優勝し、全国大会に向け勝ち進んでいる久留米大学アメリカンフットボール部の活躍状況を紹介してもらい、OBの方々へ応援をお願いいたしました。文学部9回生詫摩氏にはNHKのど自慢でも歌い、趣味としている歌を披露していただきました。また、協賛いただいた商品の抽選会を行い、参加者へ贈らせていただきました。

最後に当時応援団指導部団長の25回生西頼氏へのエールを受け、全員で校歌斉唱を行い、瓊田(たまだ)組織委員の万歳三唱で閉会いたしました。

第9回久留米大学商経同窓会 東京支部総会報告

東京支部会

東京支部 小島 成郎 (昭45年卒)

連日猛暑の続いていた平成22年9月11日(土)、前回と同じ銀座 [が] んこ] にて第9回総会が開催されました。今回は法学部 (1名) 久留米



東京支部会 平成22年9月11日 於 がんこ銀座1丁目店

支部 (2名) からの参加があり、例年以上の盛り上がりを見せる展開となりました。

議長 (川村支部長) が総会議事を進め、来賓《由井商学部長・江藤経済学部長・中矢同窓会副会長》のご挨拶を頂いた後、恒例の第一回卒業・青沼先輩の乾杯の音頭でいつものながらの和やかな懇親会へと移りました。

同窓会本部島田組織委員長のご挨拶のあと、初参加者や法学部・久留米支部の会員からの一言があり、一同打ち解けてからの抽選会、応援演舞、校歌斉唱、記念撮影と流れるように会が進み次回の再会を期して惜しみながらの散会となりました。

再構築より10周年の同窓会

日田支部会

日田支部長 田中 進 (昭45年卒)

平成22年10月30日18時より亀山亭ホテルに於いて同窓会日田支部会を、久留米大学より葉師寺学長、由井商学部長、江藤経済学部長、同窓会より宮原会長、島田組織委員長、大木久留米支部長、医学部同窓会より済生会日田病院院長西田先生、副院長西村先生、石井産婦人科院長石井先生、みよしくりニック院長三好先生、宮原レディースクリニック院長宮原先生、商経同窓会学内支部大倉さん、法学部同窓会より安達幹事、文学部同窓会より林田幹事のご出席を頂いて、日田支部より会員が出席の下39名にて開催致しました。

葉師寺学長、由井商学部長、江藤経済学部長より久留米大学の現況及び今後の方向についてのお話があり、宮原会長より同窓会活動及び大学の現況、商学部創設60周年を迎えたお話がありました。その後、医学部同窓会日田支部長で済生会日田病院院長西田先生のご挨拶、大分県医師会理事の石井産婦人科院長石井先生の

挨拶、商経同窓会、医学部、法学部、文学部同窓会役員の紹介、商学部2回生の金谷先輩の挨拶、済生会日田病院副院長西村先生のご乾杯の音頭で懇親会へと移り、本年も和気藹藹の本当に素晴らしい懇親会が行われました。

その後校歌斉唱、商学部24回生矢野さんの万歳三唱、法学部合原さんの打込みで会は楽しい雰囲気にて無事終了する事ができました。来年度も全学部、卒業生の一人でも多くの参加をお願い致します。



日田支部会 平成22年10月30日 於 亀山亭ホテル

第3回鹿児島支部同窓会「懇親会」

鹿児島支部会

鹿児島支部事務局長 末吉 修 (昭44年卒)

桜島の灰がぱらつくあいにくの日でしたが、天文館に近いホテル・パ

レスイン鹿児島に於いて、鹿児島支部同窓会の設立6周年を迎え、第3

回同窓会懇親会を宮原同窓会長、由井商学部長、江藤経済学部長、大石

組織委員、それに佐藤都城支部長をお迎えしました。またオブザーバーとして息子さんが昨年久留米大学を卒業されたという父兄の方も加えて、同窓会員21名が久しぶりの再会を楽しみ、語り合い、またイベントで踊りの先生方の舞踊の披露もありました。また、間近に迫ったおはら祭を前に、「おはら節」をみんなで踊ったりと大変賑やかな楽しい会になりました。予定の2時間半があつという間に過ぎ、又の再会を約束してお開きとなりました。



鹿児島支部会 平成22年10月23日 於 ホテル・パレスイン鹿児島

北九州支部再発足！

北九州支部会

北九州支部長 伊藤 豊仁 (昭45年卒)

平成22年2月28日、商経同窓会北九州支部の再発足会を小倉ステーションホテルにおいて開催しました。北九州支部会員、全員への呼びかけは20年ぶりでしたので、開催そのものが危ぶまれましたが、本部や関門支部の助言と支援があり開催することが出来ました。

これまで、北九州支部の茂呂(前)支部長や(前)幹事は灯が消えないように幹事会は開催し、私も代議員として久留米の総会には参加しながら、北九州支部が消滅しないように心がけていました。特に関門支部から力強いエールがあり、再発足のこの日を迎えることが出来ました。



北九州支部会 平成22年2月28日 於 小倉ステーションホテル

当日は、本部から、宮原会長、中矢副会長、島田組織委員長をお招きし、商学部は3回生から38回生までの方が出席されたほか、経済学部から3名、そして関門支部、水巻町からの参加も得て26名となりましたが、とても初めて会ったとは思えない和やかな雰囲気になりました。また今回は参加できないが、協力するという会員も17名おり、休眠期間の長さを感じさせない出発となりました。その日、幹事として数名の方に内諾を頂き、早急に役員体制を構築する予定です。また、経済学部の同窓生、近隣の自治体の卒業生にも積極的に声をかけたいと思っています。

どうぞよろしく御願います。

お知らせ

久留米大学商経同窓会
北九州支部総会

- 1. 日 時 平成23年1月22日(土)
午後6時
- 2. 場 所 リーガロイヤルホテル小倉
- 3. 会 費 6,000円
- 4. 連絡先 支部長 伊藤 豊仁
戸畑図書館
TEL 093-871-3464

肩を組んで親睦深まる！筑邦銀行支部

筑邦銀行支部会

筑邦銀行支部長 坂本 真司 (昭58年卒)

私たち筑邦銀行支部は、母校の地元久留米に事務局を置く職域支部であります。

支部同窓会を毎年開催しております。平成22年度も6月18日ハイネスホテル久留米において、31名の参加者と同窓会本部より宮原同窓会長、島田組織委員長にご出席を頂いて開催致しました。

まず、宮原同窓会長様より商学部が創設60周年を迎えたことなど大学の近況報告をいただき、つづいて



筑邦銀行支部会 平成22年6月18日 於 ハイネスホテル

久留米市役所支部からご参加いただいた田中多門様（昭和47年卒）からご挨拶をいただきました。会計報告等の後、鮫水先輩（昭和34年卒）

の力強い乾杯の発声で懇親会の幕が開きました。フィナーレは校歌の横断幕を前に出席者全員が肩を組んで校歌を斉唱し、親睦が更に深まりつ

つ、最後は島田組織委員長様の万歳三唱で会を締めさせていただきました。

総会及び懇親旅行を北海道で

久留米市役所支部会

久留米市役所支部長 大津 秀明（昭55年卒）

支部長に選任され2年目を迎えています。前回は紹介しましたが、現在久留米市役所支部は、39人の会員で年に1～2回の総会・懇親会を開催して、親睦交流を図っています。特に平成10年からは毎年、同じ職域支部であります筑邦銀行支部との交流会を行っており、昨年も11月5日に13回目の交流会を実施しました。

さて昨年度の市役所支部の総会および懇親旅行は、12月19日、20日にかけて思い切って北海道まで行ってきました。1泊2日の強行スケジュールでしたが、39名の会員中18名の参加がありました。札幌市内では、羊が丘公園、時計台、大通り公園などを散策して、いざサッポロビール園へ。翌日は、小樽市内を散策。職域支部らしく、気心の知れた仲間の楽しい小旅行でした。これからも、支部の充実に努めていきたいと思ひます。

今年4月には、統一地方選挙が実

施されます。当支部の会員である「田中多門」市議が久留米大学同窓会の

代表として、再度当選されることを心から祈念しています。



久留米市役所支部会 平成21年12月19日

12年ぶりの支部再構築

佐世保支部会

前佐世保支部長 嶺石 将利（昭53年卒）

9月18日佐世保支部は、永い休眠時代を過ぎ、ようやく目を覚まし再出発の日を迎えました。支部の再出発に当り、支部活動を続けて行くための、組織造りについて話し合いました。支部長選出につきましては、15回生の鈴木孝雄氏が快く引き受けてもらい、全員一致でお願いすることとなりました。12年振りの支部会とあって、参加人員は少なかったが佐世保支部創設時よりの支部会員の元気な姿も見られました。

会場の「JAさせぼホール」に、由井商学部長と江藤経済学部長。同窓会本部より、中矢副会長、島田組織委員長、大石組織委員をお迎えして開催されました。由井商学部長、江藤経済学部長より大学の現況と今後の方向性等について話がありました。

中矢副会長、島田組織委員長からは同窓会の現状等について報告がありました。

会はセレモニーが終わり、懇親会へと移り、名刺交換やお互いの情報

交換をしながら酒を酌み交わし、時間の立つのも忘れ、和気あいあいのうちに懇親会も進み、校歌斉唱・万歳三唱で支部会の幕が閉じられた。会は、次回の再会と盛会を約束し、二次会へと移って行きました。

各支部の皆さん、佐世保支部も活動を始めましたので、よろしく願い致します。



佐世保支部会 平成22年9月18日 於 JAさせぼホール

22年度長崎支部総会報告

長崎支部会

長崎支部 村田 裕二 (昭59年卒)



長崎支部会 平成22年10月16日 於 ホテルニュー長崎

平成22年10月16日(土)ホテルニュー長崎にて長崎支部総会が開催されました。4回卒から40回卒、また文学部1回卒の方、大学からは商学部長、経済学部長、同窓会からは会長、組織委員長、委員の方をお迎えして、総勢28名の参加となりました。ご来賓の方々には、大学及び同窓会の近況について、お話しいただきました。その後の懇親会では、業界や年次を超えながらも「久留米大学で学んだ」という絆で結ばれた同志が、話題も豊富に語り合い、とても楽しい時間を過ごすことができました。

毎年開かれるこの支部総会が、長崎に住まわれている卒業生の皆様の旧交を温め、新たなるご縁のきっかけになればと思います。次回も多くの参加をお願い致します。

会の再構築を目指して

嘉飯支部会

嘉飯支部長 永光 皓司 (昭38年卒)



嘉飯支部会 平成22年10月23日 於 パドドゥ・ル・コトブキ

久留米大学商経同窓会第10回嘉飯支部総会が、昨年10月23日に飯塚市のパドドゥ・ル・コトブキにて、本部より中矢副会長、島田組織委員長、2名の方にご出席を頂いて開催しました。

今回の総会は例年に比して出席者数が少なく、今後の支部活動そのものを見直さなければならない状況になり、役員も大きな課題を抱えることとなりました。若い支部会員の掘り起こしを如何にするか? 今後は、同窓生への一層の呼びかけ等を行い、出席者増を図りたいと考えています。

熊本県支部会の開催について

熊本支部会

熊本県支部長 大倉 長蔵 (昭29年卒)



熊本支部会 平成22年7月25日 於 KKRホテル熊本

平成22年7月25日(日)久留米大学商経同窓会熊本県支部会を熊本市KKRホテル(熊本城の勇姿を一望できます)において開催した。今年は熊本市で開催したが参加者は少なく12名となった。大学からは由井商学部長、江藤経済学部長、同窓会からは中矢副会長、島田組織委員長がご出席。今回は日曜日に開催したこと、7月という猛暑日に開催したことについて、会員の方からご指摘がありました。支部会では今後の参加者増等について、若い方、女性の参加について、開催時期、経費(はがき代)について議論した。

皆さん参加ありがとうございました。今後ともよろしく願います。

第7回福岡県南支部総会開催について

福岡県南支部会

福岡県南支部長 志岐 弘嘉 (昭33年卒)

平成22年5月8日、久留米大学同窓会福岡県南支部総会を柳川市の「しげちゃん」において22名の参加で開催しました。

来賓には、由井商学部長、商経同窓会宮原会長、島田組織委員長、大石組織員を迎えての開催でした。由

井商学部長より、「新しい社会をひらくビジネス・リーダーの育成」という商学部教育理念について、宮原同窓会長より、久留米大学商学部創設60周年記念行事が4月10日(土)に開催され記念講演会と、ホームカミングデー等の報告がありました。

島田組織委員長より、本年に鳥栖三養基支部が誕生した報告があったあと、川野副支部長の力強い乾杯の発声で、懇親会の幕があがりました。懇親会では、由井商学部長、宮原同窓会々長等と、同窓生が、酒を酌み交わし、親しく語り合い親睦を深めた。有意義な懇親会でした。

最後に校歌を斉唱し、1年後の再会を約束して終了しました。



福岡県南支部会 平成22年5月8日 於 しげちゃん

お知らせ

久留米大学商経同窓会 福岡県南支部総会

- 1. 日 時 平成23年5月21日(土)
午後4時
- 2. 場 所 しげちゃん
- 3. 会 費 6,000円
- 4. 連絡先 支部長 志岐 弘嘉
TEL 0944-86-3161

同窓会設立の原点に帰り鳥栖・三養基支部を設立

鳥栖・三養基支部会

鳥栖・三養基支部長 宇佐 良則 (昭29年卒)

平成22年3月14日(日)設立総会を開催し、会則、役員承認を得て発足いたしました。

小生は、商学部同窓会発足の当初からかかわり、当時医学部同窓会会長の故青山先生(元飯塚市長)、副

会長の畑瀬先生(元医学部産婦人科助教授)のご指導を得て、故鶴浩明君(元八女支部長)を中心に商学部同窓会を発足した経緯があり、今回の支部設立は誠に心温まる思い一杯であります。

今後は支部役員一丸となって、本部役員及び各支部役員のご理解をいただき、商学部同窓会設立の原点に帰り、医学部同窓会と一体となって久留米大学の発展に寄与することを念願に役員一同、鳥栖・三養基支部の充実に努力する決意であります。

今後とも会員のご協力を心よりお願いし、支部設立のご報告いたします。



鳥栖・三養基支部会 平成22年3月14日 於 鳥栖市中央公民館

お知らせ

久留米大学商経同窓会 鳥栖・三養基支部総会

- 1. 日 時 平成23年1月16日(日)
午前11時
- 2. 場 所 グリーンリッチホテル
鳥栖駅前
- 3. 連絡先 支部長 宇佐 良則
TEL 0942-82-4254

口蹄疫が発生しました。

宮崎支部会

宮崎支部 丸田 昇次 (昭61年卒)

平成22年5月18日、「口蹄疫」非常事態宣言が出され、口蹄疫のこれ以上の感染拡大を阻止し、早期に撲滅するための発生地区の周辺地区は集会や行事が中止や延期になりました。宮崎支部の同窓会は7月10日に行う予定でしたが「中止したほうがよい」という雰囲気がありまして中止しました。今回は初めての医学部との合同開催に向けた準備を進めていたので中止が決まって残念でした。

同窓会会場は毎回利用させていただいている「東天閣」。「東天閣」は

同窓生の林さんが経営されており、お店には宴会場がいくつかあり、われわれ以外にも消防団や農協関係者が多く利用しておりますが、今回はほとんど中止になったそうです。その影響は8月27日の終息宣言が出されてからも、なかなか客足が戻らないそうです。

口蹄疫被害と言うと畜産農家ばかりが話題になりますが、それ以外のいろいろな業界にもダメージを与えています。宮崎にキャンプを張るソフトバンクホークスが日本シリーズの前に再度キャンプを張れば・・・

と思いましたが少々残念です。

宮崎にこられてランチをお探しか、または夜のニシタチ (宮崎の繁華街)に行く方は「東天閣」にお寄りください。電話は0985-24-2955です。林さんに卒業生と名のると「豚まん」をサービスされるそうです。

最後に口蹄疫について募金や義援金を送ってくださったみなさん、ありがとうございます。終息宣言は出されましたが、地域経済復興支援のため引き続き義援金を募集しております。

これからもよろしく願います。

四国・愛媛・松山より

愛媛支部会

愛媛支部長 池田 慎吾 (昭59年卒)

H22.11.6 (土)愛媛支部会を松山市衣山「登龍門」(私の妻の手料理)において、11名(予定20名)で開催しました。欠席者が多く残念でしたが、懇親会は、山崎 貢氏 (S.38卒) 大先輩の発声で乾杯をし、平田 桂一氏 (S.44卒、現松山大学経営学部長) より自己紹介が始まりました。

また、久留米より故郷松山に参加の商経同窓会副会長の中矢巧氏 (S.44卒) による大学近況報告があり、思い出話に花が咲きました。

結びは、校歌斉唱とあのか祭(手ぬぐい)音頭を歌い、和気あいあいの中、次回再会を約束して散会しました。

最後に、私の親友である古賀祐介君が支部長として、八女支部が設立

された事をお喜び申し上げます。共に支部の発展に尽力いたしますので、

皆様のご協力をよろしく願います。



愛媛支部会 平成22年11月6日 於 登龍門

八女支部会を開催

八女支部会

八女支部長 古賀 祐介 (昭59年卒)

平成22年11月19日、八女のプラザホテルアヴェニューで、八女支部会を開催しました。大学より、由井 商学部長・江藤 経済学部長、同窓会

本部より宮原同窓会長・島田組織委員長の4名をお迎えし開催いたしました。由井商学部長には、総会終了後大学の現状と就職状況など、約1

時間弱お話を頂き、参加者も熱心に聞き入っていました。本当にありがとうございました。

当支部は、発足2年目で、まだま

だ同窓生の出席も少ないのが現状です。ただ、今回の案内では、返信も多くなりましたし、近況の欄にも詳しく書いていただいた方も多かったですように思います。

今後、名簿も益々充実させ、同窓生へのなお一層の呼びかけを行い、数多く出席いただくよう、会の内容も考えて行きたいと思えます。



八女支部会 平成22年11月19日 於 プラザホテルアヴェニュー

35回目の同窓会

都城支部会

都城支部長 佐藤 勇 (昭55年卒)

第35回、都城支部総会は、平成22年1月23日(土)に同窓生も勤務しております都城大丸において開催致しました。

大学より由井商学部長、江藤経済

学部長、石内前商学部長、本部より島田組織委員長、大石組織委員が遠路来都され、また、宮崎支部より二宮支部長、丸田幹事、鹿児島支部より田中事務局長の出席を頂き、江藤

経済学部長・石内前商学部長、島田組織委員長より大学の状況や同窓会活動のお話を賜りました。

参加者は総勢16名と少し寂しいものがありましたが、平成18年に卒業した若い同窓生の参加もあり、開宴後は自己紹介やお互いの近況報告、また、学生時代の思い出話に花が咲き、和気あいあいの雰囲気の中で校歌斉唱をした後、閉会となりました。



都城支部会 平成22年1月23日 於 都城大丸

お知らせ

久留米大学商経同窓会 都城支部総会

- 1. 期 日 平成23年1月22日(土)
- 2. 時 間 18時30分より
- 3. 場 所 都城大丸7階
(電話 0986-23-3500)
- 4. 会 費 4,000円
- 5. 問合せ 支部長
佐藤 勇(昭55年卒)
電話 0986-26-0058
携帯 090-7537-2019

チアリーダーが出演！！ 久留米支部会の準備進む

久留米支部会

久留米支部長 大木 武彦 (昭42年卒)

久留米支部では来る23年2月19日(土)午後4時、ホテルニュープラザにおいて2年おきの久留米支部総会・懇親会を開催します。

運営委員一同、10月から準備を進め、現在チケットの発売中です。当日はアトラクションとして「久留米大学チアリーダークラブ」メンバーによる若さあふれる演舞を予定しています。熱き血潮の青春時代を同じ学舎で学んだ者同士、旧交を温め、また新たな出会いの1日と致しましょう。

運営委員一同、多数のご参加を心からお待ちしております。



お知らせ

久留米大学商経同窓会 久留米支部会

- と き 平成23年2月19日(土)
受付開始 16時
行事 16時30分～
19時30分
- ところ ホテルニュープラザ久留米
久留米市六ツ門町16-1
TEL 0942-33-0010
会費 5,000円
- お問合せ 高浪孝一(昭42年卒)
TEL 0942-35-7780

平成22年度商経同窓会久留米支部 ゴルフ大会の報告

ゴルフ愛好会幹事 **国武 勝征** (昭和42年卒)

平成22年11月19日八女上陽ゴルフクラブで行いました。天候は大変良い日で、参加者9名で八女上陽のシニア&レディースコンペに参加(47名)して、武宮君(19回生)が10位、吉富君(19回生)が敢闘賞に入りました。支部会の順位は武宮君が優勝、準優勝に原口君(14回生)、3位に辻君(16回生)の順位でした。

今回も1回生の石橋先輩が参加して、大健闘で若い者も頑張らなくてははいけないと思いました。

次回は来年春、秋の2回行う事を約束して終わりました。今後、支部の参加者が増える様頑張りたいと思っています。



第2回久留米支部ボウリング大会を開催

ボウリング愛好会幹事 **吉富 巧** (昭和47年卒)

平成22年11月27日(土)ユーズボウル久留米に於いて、若い学生4人を含め12名で第2回大会を開催しました。同窓生の皆さんは若かりし頃のようにはいきませんでした、ストライクあり、ガーターありと一投一投に歓声があがり楽しく過ごすことができました。優勝は大木武彦(14回卒)、準優勝吉富巧(19回卒)、3位梅野忠(15回卒)でした。ボウリングはボウルの軽重を選べば年齢に関係なく楽しめ、とりわけストライクが出ると気持ちがかさとするゲームだと思いました。ゲーム終了後は楊明さん(17年経済学部卒)経営の上海夢飯店で晚餐会をしました。

お知らせ

第3回大会予定

日時 平成23年11月26日(土)
17:00(集合)

場所 ユーズボウル久留米
皆様の多数のご参加をお待ちしています。

久留米支部ボウリング愛好会
幹事 吉富 巧(昭和47年卒)
連絡先 0942-78-4752



第49回久留米OB会

第49回久留米OB会が10月29日(金)、筑紫ヶ丘GCで開催されました。久留米支部より富安収、原口彰の両氏に参加してもらって、総勢20名(5組)でした。優勝は松尾徹君(28回生)です。おめでとうございます。



今回は50回の節目で、来年の春開催予定です。参加希望者は幹事の神村まで…
モバイル080-8760-8290

エイジシューター達成・ シニアクラチャンで優勝!



金子 繁氏

金子 繁氏は昭和30年(2回生)商学部卒で現在77歳。

月8日は通う無類のゴルフ好き(暦45年)でHD5のシングルプレーヤー。平成22年9月5日、ホームコースの筑紫ヶ丘GCにおいて74のスコアで見事にエイジシューターを達成され、その後12日に行われたシニアクラブチャンピオンでも優勝される。

同氏は今年(平成22年)77歳で喜寿を迎え、二重三重の喜びとなりました。誠にありがとうございます。

第6回東京支部ゴルフ同好会コンペ

ゴルフ同好会会長 **梅野光信** (昭和38年卒)

平成22年10月19日(火)第6回ゴルフ同好会コンペを川越グリーンクロス(埼玉県川越市)で開催した。今回は6回目となり、過去5回の平均スコアから算出した確定HD方式とし、更に支部からの資金援助を受けて持ち回り制の優勝カップを創設した。会員10名3組でプレイし、優勝カップ創設後、初の栄冠に輝いたのは前田勝仁氏(昭47卒)であった。優勝カップ創設の効果があったのか、優勝者の13アンダーを始め、なんと参加者10名中8名がアンダーパーの驚異的なスコアであった。次回は平成23年3月の開催を約束して和気藹々のうちに散会した。



私の近況

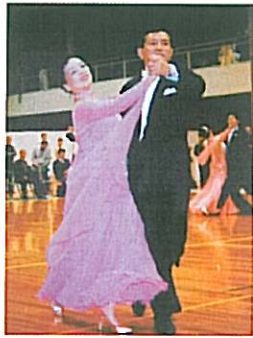
お願い あなたの近況報告をお待ちしています。

忙中閑あり

市来輝夫 (昭和46年卒)

昭和46年卒業、大阪の繊維専門商社、瀧定大阪(株)に入社し、40年間、営業一筋の職業人生でした。今は、本社の役員と物流などの子会社数社の社長や役員を兼任しています。私が働いているファッション業界もグローバルな変化を余儀なくされ、大きな転換期にあります。そんなところに、尖閣諸島の問題があり、中国生産一極集中の偏りを是正すべく、先日も、バングラディッシュに足を運んだところです。

忙中、唯一の発散場所になっているのが社交ダンスの競技会です。ワルツ、タンゴ、スローなど約3分間の中で、ダンスの美と技を競うスポーツです。競技での緊張感は仕事の緊張感とはまた違い、競技に集中することが、仕事を忘れさせてくれます。現在、C級選手ですが、これからも、上級を目指し、仕事とダンスの良い関係を続けていきたいと思っています。



微力ながら奮闘努力中です。

平田桂一 (昭和44年卒)



学部長室にて

現在、松山大学に勤務しています。副学長時代に新学部の薬学部設置に奔走し、副学長の任期途中から経営学部長を兼任して、現在は経営学部長と大学院経営学研究科長の職にあります。正直なところ自分の研究時間がとれず、自由な纏まった時間の確保に苦慮しています。

ところで、近年、社会の大学に対する期待は高まっています。これに大学は応えていかなければなりません。また何よりも、学士力や学生の満足度を高めるために何をすべきか、課せられた課題は大きなものがあります。大学を取り巻く環境は厳しいものの、大学生き残りのため微力ながら奮闘努力中です。

水泳部OB会

私共久留米大学水泳部OB会は会を重ねる事十数年になります。毎年1回の割合で開催致しておりましたが、1回卒より年齢も高齢となり余命いくばくもなくなってまいりましたので、年2回に一昨年より開催することになりました。

- 1. 開催 毎年2回 (6月と年末忘年会)
- 2. 会長 5回卒 小林民治
- 幹事 9回卒 福島直孝
- 事務局 佐賀県佐賀市大和町久池井2059-25
電話番号 0952-20-2232
090-4514-1274 (携帯)



昭和32年九州インターカレッジ優勝

久留米大学ボクシング部OB会

笛田 靖彦 (平成元年卒)

平成22年6月13日(日)久留米大学ボクシング部OB会をハイネスホテル久留米に於いて開催致しました。医学部・商学部と学部の枠をこえてのOB会も今年で5回目で遠方は、山口県、長崎県からお越し頂き、ボクシング部全盛期時代の先輩方をはじめ学生(主将)1名含む総勢25名の出席者のもと盛大な会となりました。OB会にご療養中の為欠席なされた先輩方が5名ほどおられましたのが非常に残念でお身体全快なされ来年度は是非ご参加頂きたく存じ上げます。

次回ボクシング部OB会は、平成23年6月12日(日)午後12時から開催する事に決まりました。



久留米大学ボクシング部OB会

久留米大学ボクシング部OB会
連絡先 瓊田 千之(OB会長) 電話 0942-78-4626

九重筋湯温泉ウオークについて

中矢 巧 (昭和44年卒)

昨年に続き同窓会健康クラブの行事として11月20日(土)・21日(日)に久留米大学洗心荘(通称りんどう小屋)を利用した温泉入浴、登山、ウォーキングを実施しました。

当日は幸いにも暖かく天候にめぐまれ、筋湯温泉の「うたせ湯」につかり、夜は囲炉裏ですき焼きを食べましたが島崎さん(14回)が新米・漬物、下関からはイカの刺身、九重の原田さん(16回)は炭、その他酒類や野菜・ミカンの提供があり賑やかな夕食でした。

それぞれの近況、学生時代の思い出や中村先輩(4回生)が持参した大学校舎内にあった「肉弾三勇士記念館」写真の話、りんどう小屋の改修の必要性等を遅くまで語りあい、「坊がずる賛歌」をみんなで歌い親睦・交流を深めることができました。

翌日は山に登ったり、紅葉の見学等それぞれが自分のペースでいい時間をもてたと思います。

参加者は下関、熊本県荒尾・玉名、福岡、久留米の4回生~16回生の9名(昨年同数)でした。

今後も計画しますので参加希望・問い合わせの方は、同窓会事務局へ連絡ください。



久留米にサテライト・キャンパスがオープン

平成22年8月6日、久留米市5高等教育機関(久留米大学、久留米工業大学、久留米信愛女学院短大、聖マリア学院大学、久留米工業高専)による高等教育コンソーシアム久留米(理事長 本学の葉師寺学長)の「サテライト・キャンパス」がくるめりあ六ツ門(旧六ツ門プラザビル)6階にオープンしました。主な事業は(1)各大学で実施する単位互換講義や共同講義などの提供、(2)各大学等で実施する公開講座の提供、(3)社会人向けの資格取得講座や実技支援講習会などの提供、(4)市民や学生の交流活動の支援、(5)施設の貸し出しなどです。

施設は会議室、研修室、展示室、パソコン研修室、市民交流スペース等からなっています。同窓生の皆さん、大いに利用いたしましょう。

〒830-0031
久留米市六ツ門町3-11
くるめりあ六ツ門6階
(旧六ツ門プラザビル)
Tel, Fax 0942-32-7622
E-Mail Kurume-sc@movie.ocn.ne.jp



会費納入のお願い

終身会費もしくは年会費のどちらかを選択の上、同窓会費の納入をお願いいたします。郵便局から納入には同封の払込取扱票をご利用ください。

終身会費 15,000円 (1回限り)
年会費 3,000円 (毎年)
振込先 郵便振替口座 01700-7-29407
加入者名 久留米大学商経同窓会

住所連絡のお願い

住所等お変わりの方はお忘れなく同窓会本部までお知らせください。ホームページのご利用が便利で簡単です。電話、ファックスもご利用ください。

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846
ホームページアドレス <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>
メールアドレス syoukei@ktarn.or.jp

＝平成23年度一般入試日程＝

- 文学部 心理学科・情報社会学科・国際文化学科
社会福祉学科
├ 子ども家庭福祉コース
└ 医療福祉コース
- 法学部 法律学科・国際政治学科
- 経済学部 経済学科・文化経済学科
- 商学部 商学科
- 医学部 医学科・看護学科



募集学部・学科	願書受付期間(必着)	試験日	試験地	合格発表
経済学部	1月4日(火)	2月2日(水)	本学(御井)	2月21日(月)
商学部		2月3日(木)	北九州	
法学部		2月4日(金)	長崎	
文学部		2月6日(日)	鹿児島	
文系学部統一試験 (文学部・法学部・ 経済学部・商学部)	1月17日(月)	2月10日(木)	広島・山口 北九州・福岡 佐賀・長崎 熊本・大分 鹿児島 宮崎・鹿児島 那覇・久留米	
医学部(医学科)	12月20日(月) 1月18日(火)	2月1日(水) 2月13日(日)	本学(御井)・東京 本学(御井)	2月8日(火)
医学部(看護科)	1月4日(火) 1月19日(水)	2月5日(土)	本学(御井) 広島・熊本 鹿児島	2月21日(月)

※経済学部は「学部」として募集し、2年次進級の際に学科の振り分けを行う。
※学部試験と文系学部統一試験は併願可
※医学部医学科は福岡県特別枠入試を含む

● 募集要項(願書)送料込1,000円(郵便小為替)
〒839-8502 久留米市御井町1635
久留米大学入試課
☎0942(44)2160(直通)
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/nyuushi/nyusi/>

編集後記

- 今回の会報(第27号)から20頁に増刷されました。通常16頁でしたが支部が24に増えて各支部の活動報告が活発になったことと併せて紙面の充実を図っていきたい。
- IT, ITといえどもまだまだIT弱者は多い。テレビCMにおいて詳しくは「ウェブ」でとか「ホームページ」をご覧くださいと云う非情。
- 団塊世代の歴史観のなさや団塊2世の平和ボケが日本を危うくする。北方四島と尖閣問題の対応から思う。(上床)

発行所 〒839-8502 久留米市御井町1635
久留米大学商経同窓会
責任者 同窓会会長 宮原 岩政
編集人 広報委員長 上床 一幸
TEL 0942-44-2432
FAX 0942-44-3846

URL <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>
E-mail syoukei@ktarn.or.jp
印刷所 中央印刷株式会社